

令和5年度第3回 京都市子どもを共に育む京都市民憲章推進協議会 会議録

1 日 時 令和6年3月26日（火） 午後2時～午後3時30分

2 場 所 京都市総合教育センター 1階 第2研修室

3 出席委員 松下会長、
浅川委員、岩本委員、奥田委員、表委員、梶原委員、木塚委員、末廣委員、永田委員
古川委員、山口委員、吉川委員

4 次 第

（議題）

- ・令和6年度行動指針（案）について
 - ・緊急の方策に係る動向
 - ・行動指針のテーマ（案）
 - ・行動指針（案）
- ・令和6年度「京都はぐくみ憲章」実践推進者表彰（案）について
- ・憲章の普及啓発及び実践の推進に関する令和6年度取組（案）について

（報告）

- ・「京都はぐくみ憲章」子育て応援大交流会について

5 会 議 録

（確認事項）

- ・伊住公一朗委員の後任として永田憲太朗委員が新しく就任。（京都青年会議所）
- ・出席の委員が全委員の過半数を超えるため、会議が成立している。

【議題】

（1）令和6年度行動指針（案）について

事務局

児童虐待、いじめ、児童ポルノ、薬物（大麻・ドラッグ）、HIV・性感染症、インターネット依存に関する動向について説明した後、令和6年度京都はぐくみ憲章「行動指針」（案）について説明。

（案1）Let's はぐくみアクション！～子どもの声に耳を傾け、寄り添いながら受け止めよう！～

（案2）Let's はぐくみアクション！～子どもに寄り添う“愛”コンタクト～

（案3）Let's はぐくみアクション！～子どもの“ありのまま”を受け止めよう！～

委員

保護司の活動の中で、法務省主催で実施している「社会を明るくする運動」において、小中学校で作文を書いてもらっているが、いろんな提言が出てくる。インターネット上の誹謗中傷やいじめ、DVなど、子どもたちの声を聞くと色んな事がわかる。「子どもの声に耳を傾ける」という基本を改めて共有していくことが大事ではないかと思ったので、案1が良いと感じた。

委員

いじめ、児童虐待などの話があったが、それは保護者が児童に寄り添っていないという事ではないかと思った。私たちも子どもの話を聞いて寄り添ってあげないといけないが、それができていないのではないか。そのようなことを考えると「寄り添う」という言葉を入れるというのが、親としてはありがたいと思ったので、案1、案2が良いと感じた。

委員

子どもの話を聞くことはしているつもりだが、本当に聞いているかを問い直すという意味で案１がずっと入ってくる表現だと思う。

会長

３名の委員から案１が良いとの意見が出たが、案１でいかがか。

（出席者から異議なし）

会長

次に、行動指針内容についていかがか。

副会長

行動指針リーフレット右側記載の「いじめ」の欄は、いじめをなくそうといったことではなく、いじめがあるという前提で、いじめがあった時に周りの人が「守る、助ける」といった意味合いで間違いな
いか。

事務局

お見込みのとおり。

（出席者から異議なし）

（２）令和６年度「京都はぐくみ憲章」実践推進者表彰について

事務局

令和６年度「京都はぐくみ憲章」実践推進者表彰募集について説明。

（出席者から異議なし）

（３）憲章の普及啓発及び実践の推進に関する令和６年度取組（案）について

事務局

憲章の普及啓発及び実践の推進に関する令和６年度取組（案）について説明。

委員

令和６年度第２回推進協議会について開催時期を令和７年３月予定となっているが、年度末であり、委員の出席を考えるとこの時期での開催は難しいと思う。

事務局

これまで行動指針リーフレットについては、京都はぐくみネットワーク幹事会の開催日後の発行となっており、各行政区はぐくみネットワーク実行委員会から、行動指針の共有も含めて幹事会までに欲しいというお声があった。また、実践推進者表彰募集リーフレットについても、より多くの団体に応募してもらうために募集期間を延ばしたかったこともあったことから、各リーフレットの作成スケジュールを前倒しするために、本年度から３月開催とさせていただいた。

日程調整の際には、候補日を多く設定し、出席が多く見込める日で調整していく。

委員

当日の参加者が開催要件の定員（過半数）以下とならないように引き続き調整をお願いします。

会長

私も公式 SNS（はぐく〜も KYOTO）のInstagramのフォローをしており、日々子育て情報を見させていただいている。皆様もぜひフォローをお願いしたい。

【報告】

「京都はぐくみ憲章」子育て応援大交流会について

事務局

令和5年度「京都はぐくみ憲章」子育て応援大交流会について実施報告。

会長

当日出席された方から感想や次回の交流会に向けての意見を伺いたい。また、出席されていない方も質問等があれば伺いたい。

委員

多くの方が参加されていて、全体の流れもわかりやすかった。アンケートの中で、「前半の大賞の発表時間が長かった」という意見もあるが、私自身は長いと感じなかった。活動の様子などがわかり、非常に意義のある時間だった。

副会長

こんなにも多くの大人が子どもたちを見守ってくれていることを改めて感じ、心強く思った。多様な団体があることをもっと保護者に広めることができれば、気持ち的にも楽になれる保護者もいるのではないかと思った。

委員

大賞受賞団体の発表については、事例も聞くことのできたので、貴重な時間だった。発表の時間も長くはなく、もっとじっくりと聞きたいとさえ感じた。情報交換会については、積極的に話しかけることができない方もいるので、進行の中で声かけできるタイミングをつくるなどすればもっと交流が生まれるのではないかと感じた。ブースコーナーは見やすく、過去に受賞された団体の方も掲載されていることを喜ばれていたのが良かった。

委員

子どもたちを見守っている大人がこんなにも大勢いることを知れて、改めて京都はぐくみ憲章があって良かったと感じた。大賞受賞団体の発表についてもわかりやすく、活動の参考になる部分も多くあったのでとても良かった。情報交換会では、交流した団体からこういうことができるよといった提案があり、児童館において早速令和6年度から取り入れていく予定である。

委員

大賞受賞団体の発表はとてもわかりやすく、勉強になった。情報交換会については、個人的には入りにくかったので、ブースコーナーを見学していた。人によっては先にブースコーナーを見ている人もいて、途中から交流されている中に入るのも難しいかなと思った。

委員

子育て支援をされている団体同士が一同に顔合わせ、お互いに刺激をし合うことはとても大切なことであり、その機会となるこの交流会そのものが大事だと感じた。

委員

各団体がどのような活動をされているのかを知ることができ、またそれぞれの活動を広める機会にもなっていたので良かった。

委員

当日参加できなかったのが教えていただきたいが、情報交換会は活動内容等問わず自由に誰とでも話すことができるような形式で実施していたのか。

事務局

最初は活動されている行政区ごとにテーブルを案内し、情報交換会がスタートしてからは自由にお話いただくように案内させていただいた。

委員

当日参加できなかったが、行政区ごとで各団体がやり方を工夫して熱心に活動されているので、今後も活動に協力していきたい。

会長

あれだけ多くの方に集まっていたことが嬉しく思うとともに、それだけ交流の場を求められているということを感じた。実践推進者表彰についても表彰だけで終わってしまうのがもったいのと感じていたので、実際にお会いすることができ、また活動を広めることができたことも良かった。ブースコーナーも良く、全体を通して私自身も得るものが多くあった。委員の御意見にもあったように、進行等で交流できるきっかけをもう少し取り入れるとより良いものになると感じた。